



# まじやまぶ

平成28年3月1日現在

世帯数:	5,135戸
男女計:	5,753人
男女計:	6,159人
男女計:	11,912人

## 里山辺地区 まちづくりトーク

「里山辺地区まちづくりトーク」は、地区の皆さんの声を直接聞き、地域づくりの手立てとしましょうということを実施しています。今年も1月24日公民館の大会議室で71名の参加者で行われました。主な内容は以下の6点でした。

- ① 里山辺地区の公民館の移転新築について
- ② 松くい虫対策について
- ③ 現在南小松のウエストビークで止まっている出川・浅間線の今後の見通しについて
- ④ 松本山雅への地元支援について
- ⑤ 地区内の空き家、荒廃畑地の対策について
- ⑥ あいさつ運動のさらなる展開を図ってほしい

それぞれが里山辺の地域づくりにとても大切な問題です。本号では、里山辺公民館の移転新築について触れたいと思います。里山辺公民館は松本市の公

民館の基準面積でみてもかなり下回っています。図書室がなく暗い図書コーナーも問題です。また、出張所事務室が狭く地域の皆さんと話をする懇談スペースがありません。ふれあい会食会や公民館合同委員会等の飲食を伴う会は、大会議室が狭くてとても困っています。駐車場も月に一、二度満車で来庁者に迷惑をかけることがあります。JA里山辺支所の跡地に公民館が移れば、隣接する里山辺保育園にも良いのではないかと。本年度実施された教育文化センターの在り方委員会でも、教文、公民館、教育会、中間教室などが入っていてお互いに手狭である。もし公民館が移転するなら福祉ひろばも一緒に移転併設をお願いしたい。JAの跡地(約2000㎡)が空くこの機に是非移転新築をお願いすべきではないか。との意見が出され反対する声はありませんでした。



里山辺地区まちづくりトークの様子

## わが町紹介

● 北小松 ●  
公民館活動が見えるように

この3月で2年の任期が終るに当り、北小松公民館での活動の一端を振り返りたい。総勢9名の委員で活動を推進していますが、今までに町内住民の参加を促すのに大変苦労してきました。

何か良い手立てはないかと思案中で、丁度公民館にカラーコピー機が導入されたこともあり、回覧板のカラー化

2月16日には町会長会でも了承され、正式に地域の声として市に要望していくことになりました。

里山辺公民館長 花岡 豪

で公民館活動を『見えるようにしよう』と考えました。

当公民館は、里山辺公民館と連動してスポーツや文化活動を推進しています。この中で、4つの大きなスポーツ大会の選手募集案内、及び町内文化祭の作品募集案内やそれらの活動の結果報告のために、写真やイラストを用い、簡素で分かりやすくした回覧板(A4用紙1枚)を配布してきました。今年度の活動結果報告の主な回覧板の例を写真で示します。

このようにして、公民館活動が今までよりは見えるようになったとは思いますが、この2年間、過去と同様、住民



回覧板の例(背景は北小松公民館)

の参加に一苦労しています。年度末の町会の総会では、公民館の活動をプレゼンテーションしようと考えています。北小松公民館長 桐畑 文明



## 江戸末期から明治が面白い

小松芳郎先生歴史講演

歴史の中で私が面白いと思うのは、古い順に「邪馬台国」と卑弥呼、続いて「戦国時代」の信長、信玄、秀吉、家康などの武将、最後に江戸末期から「明治維新」です。特に明治前後はあらゆる情報が目の前にあり、国の変わる形も実感でき、数多くの偉人が今の日本を造ってきたことなどが理解できます。

像することはなかなか難しいことですが、今回の小松先生の講話の中に取り扱ったことは、何よりの収穫でした。講話の中で「町を感じる場所」の話がありました。生まれた地と時を思い出させる素晴らしい内容でした。私の「町を感じる場所」は千鹿頭から筑摩神社へ続く旧道を經由して筑摩橋を越えた辺でしょうか。

昨今の大河ドラマや朝ドラマで見る時代背景と流れなどでは、松本・山辺の変わりゆく姿を想

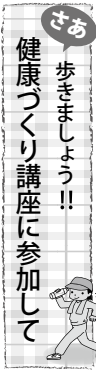
皆さんの「町を感じる場所」は 何処ですか。 山辺歴史研究会 武田 善徳

# 立志式 開催される

今年で第3回目を迎える「里山辺地区立志式」が2月20日に開催され、山辺中学校から37名、清水中学校から10名の生徒が参加しました。式では生徒代表の倉科杏奈さんより以下のような逞しい「決意のことば」が述べられました。

里山辺公民館、関係者の皆様、今日は、私たちの為にこのような立志式を開いて下さり有り難うございます。

現在では、20歳が成人とみなされますが、昔は15歳、満14歳が成人として大人の仲間入りだったと聞きました。今の私を振り返ってみるととても



日頃農作業をする毎日ですが、農閑期に体をコンスタントに動かしたいと思い、健康運動指導士の今関先生に御指導を受けました。

楽しい実技・会話の中、体の10%の重さの頭部をしつかり背骨の上に乗せて歩くこと。そして自分を支える足、脚、膝、股関節等のストレッチを教えて頂き、野外でポールウォーキングも体験しました。

大人とは言えませんが。朝から親に起こしてもらい、朝食、夕食など、1日中家にいれば親に頼って生活しています。昔の人の自立は早かったのだなと感心してしまいます。

そこで、この立志式を機に改めてどんな大人になりたいのかを考え、三つの決意とします。



決意の言葉を述べる倉科杏奈さん

これから高齢に向かって手軽にラジオ体操、ウォーキング、ストレッチ等を日常の中で続け、体の柔軟性を高め、健康でありたいと思ったところです。

さあ、ひかりの春アルプスを眺め歩きましょう。

上金井町会 矢崎 寛子



講座の様子  
～正しい姿勢から一歩一歩～

一、後輩の模範となる生活をする。

二、どんな苦勞にも耐えられる気力、体力を養う。

三、親や自分の周りの人へ感謝する心を持つ。

この三つを念頭に置き、自分の描く夢に向かい、一生懸命生きていきたいです。

里山辺中学校生徒代表 倉科 杏奈

## 体力づくりサポーター紹介

松本市健康づくり課の、自分の体力づくりをしながら、地域で「運動を通じたボランティア活動」をしてみませんかとの募集に応募して、H26年に美女美男(一部もと)10名で組織されました。講座や実習等研修を受けながら体力測定のお手伝いや健康教室でストレッチ、脳トレを担当しています。今は成長途中で活動も手探り状態ですが、市の方針や考え方を良く確認し、サポーター自身の健康についても必要な運動内容を考慮し、将来はより現実的な内容で、効果の見える活動施策に発展させ、「美しく生きる」を具現化できる活動に繋がっていくように頑張ります。

体力づくりサポーター  
小沢 芳栄

## 御柱祭 山出しに向け「綱より」

千鹿頭神社で4月17日に行われる御柱祭の「山出し」に向けて林千鹿頭神社御柱総代は3月6日に2本の御柱を曳く為の綱より作業を行いました。

氏子約90人が林公民館と大嵩崎公民館に集まり「よいさ、よいさ」と掛け声をかけて、御柱を引く「元綱」30mを4本、後ろに付ける「追い掛け」7.5mを4本、力を合わせて編み上げました。

もともとの「引き綱」は稲藁を編み上げて作っていたが、稲の刈り取りが機械化され稲藁の確保が出来なくなり、前回の「御柱祭」より、わら縄と麻縄を撚り合わせて「引き綱」を作る様になりました。

慰労会では「木遣り」で本番に向けて結束を深めました。

館報編集委員 小岩井 登嗣治



綱よりをする氏子衆

## トピックス

◇1月29日に雨水による倒木で県道松本和田線が通行止めとなりました。現地では入山辺地区地域づくりセンターに対策本部を設置し、道路の復旧と孤立した世帯への支援等に当たりました。地元消防団第19分団も出動し、活動に当たりました。2月19日午前9時から通行規制が解除されました。

◇里山辺地区では松くい虫被害が深刻化する中、1月19日に「里山辺地区松くい虫対策協議会」が組織され、地区全体での対策を協議しています。民家や事業所でも松本市の補助を活用し、樹幹注入剤による対策を進めております。今後は無人ヘリによる薬剤散布等の対策が検討されております。

◇里山辺体育館の東側の6本のサワラの本は地元と松本市の連携の下、1月28日に伐採されました。体育館の日当たりも改善されます。



里山辺体育館木伐採

里山辺公民館主事 石川 和也